

# 会 議 録

## 1 会議名

平成27年度第6回直江津区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### 【協議事項】

地域活動支援事業について（公開）

## 3 開催日時

平成27年8月7日（金）午後6時00分から午後7時24分まで

## 4 開催場所

上越市レインボーセンター 第三会議室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員： 増田和昭（会長）、青山恭造（副会長）、竹内明美（副会長）、  
池田伸吾、泉 秀夫、伊藤邦雄、今井不二子、小林克美、田村利男、  
田村雅春、富塚 毅、中澤武志、福島 弘、丸山朝安、三上正子  
（欠席2名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：関川センター長、荒木係長、星野主任

## 8 発言の内容

### 【関川センター長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

### 【増田会長】

- ・挨拶
- ・会議録の確認：富塚委員、中澤委員に依頼

3. 議題【協議事項】「地域活動支援事業について（追加募集の採択審議）」について、

事務局へ説明を求める。

**【荒木係長】**

資料No.1「平成27年度 直江津区地域活動支援事業提案書 受付一覧（担当課所見あり）」、資料No.2「平成27年度地域活動支援事業（追加募集）採点総括表」に基づき説明

**【増田会長】**

今、事務局から説明を受けたとおり、10件の提案があり、5件は採択、5件は不採択である。

不採択事業の5件について、不採択の理由についての感想をお願いしたい。これは事務局が、提案者へ不採択の理由を丁寧に説明する必要があるということで、みなさんの感想を参考にしたいという趣旨である。

最初に「No.3 小川未明の作品から直江津の魅力を発見し発信する事業」について、感想等を確認する。

**【泉委員】**

確認だが、ここで述べる意見は、採点の結果とは一切関係なく発言してもいいのか。

**【増田会長】**

自分の採点に関係なく、感想として述べていただくということにしたいと思う。

皆さんからいただいた意見は、事務局と私で相談し整理して、まとめて提案者へお返しするというにすることにする。

**【感想等】**

- (1) 小川未明の件については、他の活動団体もある。「小川未明」が主ではなく、「小川未明」の作品を材料として、上越市をどのように活性化に結び付けていくか、ということであり、「小川未明」に関する団体が連携を良くとられた取組を始めに考えていただきたいと思う。
- (2) 直江津の海に関連した作品を挙げられているので、理解はできるが、事業の全体像がよく分からない。
- (3) 小川未明の作品を全てプロに任せているような感じがあったので、これだと興業になってしまうのではないかと思った。
- (4) CDを駅で流すことについて、電車がホームに入る時間等で人が大勢いる時はアナウンスが流れるし、アナウンスが流れないと人が誰もいない。発信活動の内容が

よく練れていないと感じた。

- (5) 質問に対する回答を読み、熱意は非常に感じた。朗読会やCD製作については、私は、朗読者の上手い下手によってかなり内容が伝わるかどうかが決まると考えているので、やはりプロの方に読んでもらうべきだと思う。ただ、CDをどのように活用していくのかビジョンが見えない。

#### 【増田会長】

では、次に「No.4 直江津の玄関口を明るくし安心安全とイメージ向上に寄与する事業」についてだが、別紙3のその他特記事項等一覧に意見が記載されているが、加えて他に感想等を求める。

#### 【感想等】

- (1) 今年から防犯灯LED化補助制度が開始され、市からの補助は1灯当たり1万円で、残額は町内会の負担である。目的は、市が負担する電気料金を安くすることだが、率直に言うと、補助率をもう少し上げてもらいたい。もう一つは、手続きを簡易化してほしいという要望もしている。経費負担の面で町内会はそれぞれ事情がある中で苦勞されているので、提案に対して100%補助してもよいものかというのが、まずは第一印象であった。
- (2) 公益性の問題、市からのLED化に対する補助率の問題もある。私の町内でも問題になったが、かなりの費用が掛かる。但し、提案の実施場所が直江津駅の玄関であることから採点で非常に悩んだ。
- (3) 防犯灯LED化補助金については補助率が3割。電気料は市が負担する。ただ、全国的にみると、防犯灯は町内会が維持管理している。それを市が負担しているというのも、かなり珍しい。

もう一つは、実施場所が駅前で直江津の顔だということを勘案すると、お金の問題は別にして、若干公共性があるという思いはする。併せてあげばの町内会の通りは1灯も防犯灯がない。それは街灯が出来た時にそれで代用できるという経緯もあった。そのことを考えると、全く公共性がないというのもどうかと思う。ただ、今回の提案で100%近く補助するというのはいかなるものかと思う。また、財政困難な中で街灯を消している事実がある。これ以上財政状況が悪くなった場合、それをきちんと商店街で維持できるのかという保証が一つもない。その辺も明確にして欲しいと思う。また、私なりに他にいろいろと補助制度を調べてみたが無かった。

(4) 以前に補助金はあったが、その時に応募をされていない。既に打ち切りになった。

(5) 今現在活用できる補助金は他にないことは確かである。これ程重要な件であれば、2次募集で出さず、1次募集で提案すべきであったと思う。

**【増田会長】**

町内会の負担となると、財政力のない町内会は防犯灯がなく真っ暗でいいのかという大きな問題があり、町内会は悩んでおられる。それを念頭に置いていただきたい。

**【感想等】**

(6) 防犯灯の場合は、原則35mという間隔があるが、駅前の商店街を明るくということで当初、31基を設置したのだと思う。実際、現在は15基しか使用されていないところ、果たして35基設置する必要があるのかというのが疑問である。もっとしっかり精査して検討し、ある程度縮小していただきたい。

**【増田会長】**

本件は、関係者一同、非常に悩んだところで、これで終わりではなく、引き続き何らかの方法で考えていかなければならないと感じている。

次に「No.6 直江津の古き良き歴史を、デザインを通して未来に継承する事業」について、感想等を求める。

**【感想等】**

(1) 別紙3のその他特記事項に記載のとおりだと思う。

**【増田会長】**

次に「No.7 (仮称)直江津水族館ロードアート修景整備事業」について、感想等を求める。

**【感想等】**

(1) 新水族博物館を核とした活性化検討会で検討されていることとの整合性について会で協議いただきたいと思う。

**【増田会長】**

次に「No.8 《直江津から元気発信》事業(その2)」について、感想等を求める。

(1) 事業内容を見ると、本来の事業の目的がよく分からない。地域住民を交えた取組も必要ではないかと思う。

(2) 提案の中に「釣り場開放」ということが変な誤解を招いている。一部の業者のPRになりかねない。ただ、地元町内会の釣り道具屋等では、朝早くからの釣り場開

放による騒音対策について、相談をされたようである。

**【増田会長】**

地元としては、一所懸命に取り組んでいると感じている。

他に感想等はないようなので、出された感想等を参考に、事務局と私で不採択理由を整理したいと思うので一任願いたい。

次に、提案された事業について、特記事項が別紙3にまとめてある。これの扱いについて、意見を皆さんから伺いたい。

「No.1 八幡宮公園の憩いの場・癒しの場づくり事業」について、特記事項に「事業に投資する金額の問題と水源確保が疑問である。今一度内容を精査し、50万円くらいで実施してはいかがか」という内容だが、扱いについて、皆さんに意見をお聞きしたい。

**【泉委員】**

事業費を具体的に「50万円くらいで実施してはいかがか」という意見があるが、どの部分を削るという案があるのか。

**【増田会長】**

事業費を精査してほしいということである。

**【泉委員】**

事業費を50万円で切る必要はないと思う。

**【増田会長】**

事務局から通知する際にこういう意見があったことは伝わるので、事業費を50万円に抑える必要がないと思うがどうか。

(意見なし)

では、事務局から、採択に際してこのような意見があったことを伝えてほしい。質問・回答の中には、金額のことも含めて、皆さんから厳しく指摘されているので、提案者はそのことを十分承知していると思う。

**【中澤委員】**

私はあまり疑問を持っていない。今年ようやくホテルが飛んだ。「もっと頑張れ」という思いなので、マイナスの意見があったということを強調して伝えてほしくない。応援したいと思っている。

**【増田会長】**

では、そのように伝えてほしい。

次に「No.2 鉄道の町「直江津」発信事業」について、「来年度以降にも交通の要所、直江津駅の歴史を残す取組に尽力していただきたい」。これは希望・要望で、特記事項からは省くこととする。

次に「No.5 福島城の顕彰事業（追加事業）」で「福島城址に関わる現存するもので、湊八幡宮のほか、春日新田3丁目にある春日神社があり、祭礼が大変賑やかに行われている。この神社も記載してほしい」は要望なので、この旨、伝えてほしい。

では、地域活動支援事業の採択審議はこれで終了とする。

今後の予定だが、残額が67万8,000円である。3次募集については、申し合わせ事項として昨年より3次募集は行わないとなっているが、今回残額が多いことから意見等を求める。

（意見なし）

では、3次募集は行わないこととする。

4. 「その他」について、事務局に説明を求める

#### 【荒木係長】

中央保育園の移転については、直江津区の自主的審議事項で検討されてきており、老朽化し、建て替えが必要となっている中央保育園を、上越市社会教育館の跡地へ新築・移転する可能性について検討していくこととしている。

先日、保育課から、保育園移転に関して直江津区地域協議会の正・副会長に事前説明されたことを別紙資料により説明する。

#### 【増田会長】

質疑を求める。

#### 【田村雅春委員】

旧社会教育館の斜め向いの駐車場はどうなるのか。

#### 【荒木係長】

確認はしていない。

#### 【青山副会長】

駐車場はそのまま残すと思われる。職員駐車場は直江津中学校の敷地に予定されることである。

#### 【池田委員】

中央保育園を旧社会教育館の跡地に建てるのは賛成だが、古城保育園を統合すると、

もし、地震で津波が想定された場合、子どもたちを帰す場合、特に橋を渡らなければいけない。古城保育園エリアから通ってくる園児の避難方法をきちんと考えていただきたい。

**【小林委員】**

道路を挟んですぐ隣に直江津中学校の校舎がある。授業中に保育園から聞こえてくる音対策はどうなっているのか。その辺を聞いておいていただきたい。

**【増田会長】**

いずれにしても本件は、自主的審議により生まれた結果である。工事に入る時に地域協議会に説明されると思うので、今はこういう経過で進んでいるということで承知していただきたい。

**【泉委員】**

進捗に応じて我々も審議や検討できるようタイムスケジュールを取っていただきたい。

**【増田会長】**

そのように取り図っていただきたいと思っている。

因みに、保護者への説明会は終わったと聞いているが、どのようなやり取りがあったかは聞いていない。いずれにしてもしっかりと取り組んでいく必要があると思っているので、そのように御理解いただきたい。

**【伊藤委員】**

補足だが、昨日、五智地区の町内会長協議会長として市担当課から説明を聞いた。直江津地区の町内会長協議会長や地元の町内会長に説明されている。これから設計に入るので、これから皆さんの意見を聞いてやっていきたいと言われていた。

**【増田会長】**

皆さんの意見を十分に聞いて進めるようにとお願いしてあるので、私どもとしてもそのように対処していきたいと考えている。

**【泉委員】**

先ほど、津波の話が出たが、港町は間違いなく湛水状態になるということ。おそらく、津波が来た場合には、港町は20cmくらい沈下するだろうと、その沈下の部分を見込んだ中での湛水である。すぐに児童・園児を帰すようなことはしない。そういうことを弁えた中で訓練を行っていただきたい。

**【増田会長】**

その辺はしっかり取り組んでくると思う。

**【中澤委員】**

細かいことだが、地元町内会や事務局への説明というのは、参考資料に書かれている程度なのか。例えば、駐車場に何台くらい止められるとか、そういう説明は何もないのか。

（「それはこれからのことだ」という声あり）

**【青山副会長】**

地元としては、建設予定地をあまり西に寄らないでほしいとお願いした。大正9年から塩浜町は防砂林として松を植えた。私はそれを先月、直江津小学校で子ども達に大切な木であると話してきた。大きな石碑もある。

**【中澤委員】**

詳しい計画ができた段階で示していただきたい。

**【増田会長】**

中澤委員のおっしゃるとおり、設計が出来た段階でしっかり説明していただいて、その時点でしっかり考えるという扱いにしたい。

市の関係課は、保育課、都市整備課、場合によっては企画政策課も関係する。企画政策課は何故かという、水族館に関する周辺整備事業の範囲に入るの、それも含めて町内へよく連絡してくださいとお願いしてある。私達とも連携を取りながら進めて行くと思われる。

では、この件はこれで終了とする。

次の案件について、事務局から説明を求める。

**【荒木係長】**

「新水族博物館を活用した直江津のまちづくりを話し合う会」について、7月中に2回、住民との意見交換会を開催した。次は、住民団体との意見交換が予定としてあるので、こちらの実施について、日程、周知方法、どういう団体に声を掛けていくか等を協議いただきたい。

直接案内する団体としては、これまでの地域活動支援事業の提案団体を考えている。

日程については、9月1日号の広報上越と併せて「地域協議会だより」で周知し参加団体を募集したいと考えている。案としては、9月17日（木）、28日（月）、29日（火）、30日（水）のいずれかで考えている。勤務されている方も考慮し、平日の夜、

19時くらいからが適切かと思う。

**【増田会長】**

補足だが、7月の「話し合う会」に参加された方たちへは、出された意見等がまとまった段階でなるべく早いうちに送付しようと思っている。もし、その方たちが住民団体との意見交換会への参加を希望した場合はそのように取り計らいをしていきたい。

もう一点は、直江津区地域協議会としての検討は、10月末の予算化までに間に合わなくなるので、住民団体との意見交換を行う前からでも早めに着手していきたいと考えている。団体との意見交換で新しく出てきたものがあれば、検討の中に取り込んでいきたい。

また、「地域協議会だより」で住民団体を募集するが、個別に案内する団体は、地域活動支援事業に提案した団体で、それ以外の団体については、応募を待つか、委員の方々から直接声掛けをいただく扱いとしたい。

- ・本件に対して、質疑を求めるがなし
- ・一団体、何名まで参加可能にするか協議
- ・日程について協議

団体との意見交換会：9月25日（金）19時～ 直江津学びの交流館

基本的には7月の「話し合う会」で出た意見のまとめたものを参考に、追加の意見を出していただきたいと思う。

**【中澤委員】**

テーマに沿わない話で時間のロスがあっても困るので、予めどういうメンバーが参加して、どういう方向で意見交換するのか。目標値を設定するのか。時間も1時間でいいのか。参加者全員で会の進め方の共通認識を図る必要があると思う。

**【関川センター長】**

住民との意見交換会の時は「とにかく何でもいいから話してください」というスタンスだった。ただ、今回は、出された意見等を元にしての話し合いになると思うので、討論の持っていく方は事務局で考えてみたい。

**【青山副会長】**

住民との意見交換会は、当日参加が可であった。初めての人には説明をする時間も必要である。

**【増田会長】**

住民との意見交換会では、非常に御苦勞されたのはよく分かっているし、その辺も踏まえた上で、団体との意見交換は1回の開催とする。何故1回かと言うと、団体はある程度の経験もあるだろうということをお願いしている。限られた時間内でスムーズに会を進行する必要がある。次回の協議会をお盆明けに開催することとし、事務局で2回分の意見等をまとめて委員に見ていただくという扱いにしたい。

**【泉委員】**

2回開催して感じたことだが、「自分の思っていることを話す」ことが結構多かったため、「みんなで直江津の町を考えよう」という議論に持っていくのが非常に難しい。

**【増田会長】**

団体だとまとまった意見等が出てくると思うので、それに沿ってやっていただきたい。

**【今井委員】**

事務局に確認するが、「話し合う会」で出た意見は集約されているのか。

**【荒木係長】**

大洋紙に貼られた意見は1グループごとには集約してあるが、4グループ分の意見をまとめるまでには至っていない。

**【今井委員】**

まとめたものが出来たら早めにいただきたい。

**【荒木係長】**

承知した。

**【今井委員】**

それと、参加された皆さんにも是非、意見を読んでいただきたいと思う。

**【増田会長】**

もう一度説明するが、2回開催した分を、分類も含めて事務局で一次的にまとめて、それを参加した人全員にお礼の文書を付けて送付する。その文書の中で「団体との意見交換を行うので、御希望の方は、この意見を踏まえて参加してください」という呼び掛けもする。委員からは、8月の下旬に開催する地域協議会でまとめた意見等を見ていただくという段取りにしたいと思うがどうか。

(意見なし)

- ・次回協議会について、事務局へ説明を求める

**【荒木係長】**

- ・ 次回の協議事項について説明
- ・ 次回の協議会日程について協議するよう依頼

— 日程調整 —

**【増田会長】**

- ・ 次回協議会：8月25日（火）午後6時～
- ・ 次の案件について、事務局へ説明を求める

**【荒木係長】**

「地域活動支援事業に係る意見・課題・改善策等について」の依頼である。昨年同様、まずは委員個人で事務局へ意見等を出していただき、地域協議会で検討した上で自治・地域振興課に報告するということになっているので、まずは畏まらず気軽に出していただきたい。

意見等の提出日は8月19日（水）まで、次回協議会の際に出された意見について協議したいと考えている。

**【増田会長】**

補足説明をすると、皆さんから出していただく意見は、自治・地域振興課に報告する案件と直江津区地域協議会として取り組む案件がある。当協議会で話し合うべきものについては話し合っただけで決めた。自治・地域振興課に挙げる案件については、皆さんと相談しながら挙げて行こうと思っているが、あまりまとめてしまうと、皆さんが協議会委員として意見を出していただいても、せっかくの意見が届かないということがあるので、極力、議題に挙げていきたいと考えている。

他に意見等はあるか。

**【小林委員】**

新水族博物館に関連して、イルカの確保の件では、繁殖飼育がきちんと出来るような設備を造ることについて、明確に示されていない。

**【増田会長】**

基本設計もそうであるが、「直江津のまちづくりを話し合う会」でも、道の渋滞とか、車をどうするのかと心配する声があった。その辺もしっかり向き合っていかなければと思っている。当然、周辺環境整備も絡んでくることである。

- ・ 他に意見等はなく、会議の閉会を宣言する

## 9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。